

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成28年8月18日 (2016.8.18)

【公表番号】特表2016-515807(P2016-515807A)

【公表日】平成28年6月2日 (2016.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2016-034

【出願番号】特願2016-500351(P2016-500351)

【国際特許分類】

C 1 2 M 1/34 (2006.01)

C 1 2 Q 1/04 (2006.01)

C 1 2 Q 1/22 (2006.01)

G 0 1 N 27/416 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 M 1/34 B

C 1 2 Q 1/04

C 1 2 Q 1/22

G 0 1 N 27/46 3 3 8

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月28日 (2016.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

【図 1】本発明の実施形態を用いた使用に適切な滅菌インジケータの第 1 の実施形態の使用可能前の構成の模式断面図である。

【図 2】図 1 の滅菌インジケータの使用可能構成の模式断面図である。

【図 3】図 1 と同様の、本発明の実施形態を用いた使用に適切な滅菌インジケータの第 2 の実施形態の使用可能前の構成の模式断面図である。

【図 4】本発明の実施形態における使用に適切な 3 つの電極を含む導電性ストリップの模式図である。

【図 5】本発明の実施形態における使用のための試験インキュベータ／リーダーの模式図である。

【図 6】本発明の実施形態による、試験インキュベータ／リーダーにおける、増殖培地に差し込まれた図 4 と同様の導電性ストリップとのインキュベーションの間の滅菌インジケータの実施形態の模式断面図である。

【図 7】本発明の実施形態による、孢子が第 1 の区画内にありかつインキュベーション培地およびストリップが第 2 の区画内にあるバイアルを有する滅菌インジケータシステムの模式図である。

【図 8】本発明の実施形態による、孢子およびストリップが第 1 の区画内にあるが互いに離れており、かつインキュベーション培地が第 2 の区画内にあるバイアルを有する滅菌インジケータシステムの模式図である。

【図 9】本発明の実施形態による、孢子が第 1 の区画内にありかつインキュベーション培地が第 2 の区画内にあるバイアルを有し、そしてストリップがバイアルから離れている滅菌インジケータシステムの模式図である。

【図 10】本発明の実施形態による、孢子がストリップ上にありかつストリップが第 1 の区画内にあり、そしてインキュベーション培地が第 2 の区画内にあるバイアルを有する滅

菌インジケータシステムの模式図である。

【図 1 1】本発明の実施形態による、孢子がストリップ上にありかつストリップがバイアルから分離されており、かつインキュベーション培地が第 2 の区画内にあるバイアルを有する滅菌インジケータシステムの模式図である。

【図 1 2】反応電極により生じた信号を受信し、それをデジタル信号に変換し、そしてそれをマイクロコントローラに伝達するためのデバイスの模式図である。

【手続補正 2】

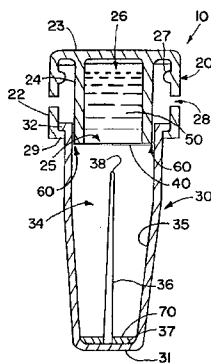
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

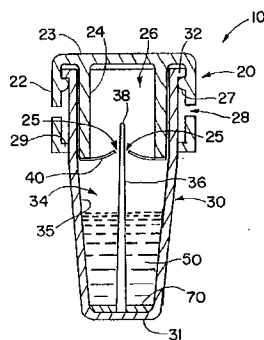
【補正方法】変更

【補正の内容】

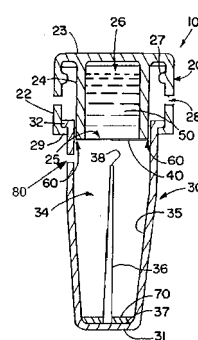
【図 1】



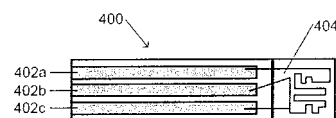
【図 2】



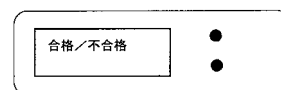
【図 3】



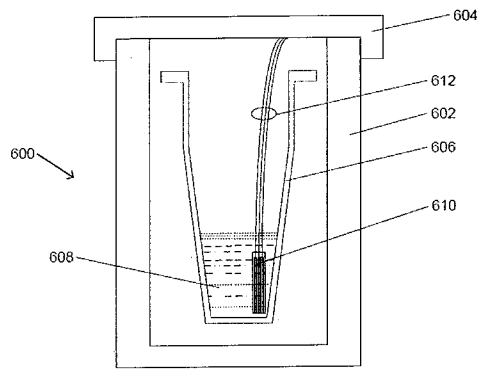
【図 4】



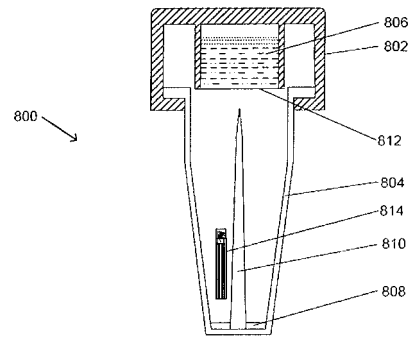
【図 5】



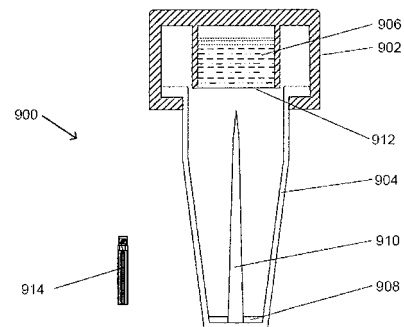
【図 6】



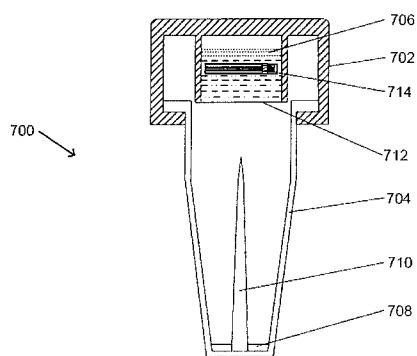
【図 8】



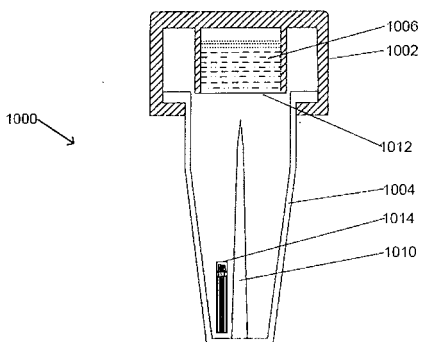
【図 9】



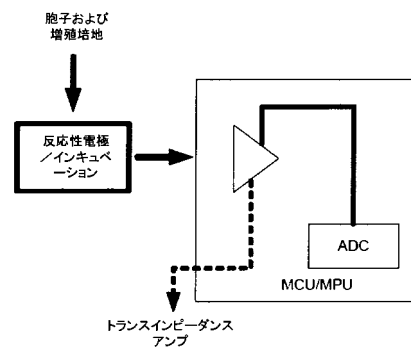
【図 7】



【図 10】



【図 12】



【図 11】

